

三重の畜産女性の会
サン・カラット
平成30年度総会資料



と き 平成30年6月26日(火) 13時00分

ところ 松阪農業公園ベルファーム

レクチャールーム

(松阪市伊勢寺町 551-3)

三重の畜産女性の会 サン・カラット

所在地 津市桜橋1丁目649番地 農業共済会館

事務局 一般社団法人 三重県畜産協会

電話 059-213-7512 FAX 059-221-0109

E-Mail info@mie.lin.gr.jp

平成 29 年度事業報告

畜産経営を取り巻く環境は、高病原性鳥インフルエンザの国内発生、肉用牛もと畜や乳用後継牛の価格高騰など厳しい状況が続きました。グローバルな視野に立てば、米国のTPP交渉離脱によりその行方が依然不透明な状況となったことや恒常的に発生している家畜疾病も気がかりな課題となりました。

さて、サン・カラットは、平成 18 年の発足から 11 年が経ちました。特別な事業はできませんでしたが、畜産協会の「女子力発揮推進事業」へ協力し、秋田県での研修会参加などの活動により知見を広げることができました。また、今年度取組んだ新たな活動では、県内 4 つの農業高校を訪問し、出前授業実施に向けた説明と打合せを開催しました。急ではありましたが、出前授業を 1 校で実施することとなり、手探りの中、資料作成を行い、畜産の生産現場と畜産女性の活躍について伝え、意見交換を行うことができました。

私たちは、畜種を越えて集い、お互いに励まし合い、学びながら今年度の活動が続けられたと思います。

1 総会

とき：平成 29 年 6 月 23 日（金）

ところ：松阪農業公園ベルファーム（松阪市）

出席者数：総数 25 名（うち会員 14 名）

協議内容：平成 28 年度事業実績、収支決算の報告
平成 29 年度事業計画、収支予算の提案



代表世話人の小林さんから「昨年度はたくさんの研修会があり、企画・運営の段階から携わっていただき、当日はたくさんのご参加いただきありがとうございました。また、県など行政機関には親身になってご支援・ご協力いただき、ありがとうございました。さて、昨年度は、これまでになかった行事をたくさんできました。異業種交流や、若い世代の方たちとの交流をし、多くの出会いがありました。29 年度は、この出会いを大切にしながら、一つ一つできる事から始めて行きたいと思っております。また、会員の皆さんには企画の段階からご相談しながら、内容の濃い研修会をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。」と挨拶がありました。

来賓の県畜産課斉藤課長の代理として出席いただいた佐藤技師から、「昨年は伊勢志摩サミットの成功に向け県民一丸となって取組み、三重県は世界中から注目されました。県内産の畜産物をたくさん提供されました。さらに、2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。県産畜産物の一層のブランド力向上や国内外への販路の拡大に促進していきたいと思っております。」との挨拶をいただきました。

2 研修会・交流会等の開催・参加

1) サン・カラット研修会（総会と同日開催）

※この研修会は、畜産団体調整機能強化事業との共催により開催されました。

三重県高校教育課高校教育班の駒田周昌先生をお招きし、これからの将来を担う若い世代である農業高校生はどんなことを勉強しているのかな？将来はどう考えているのかな？ということをご紹介していただきました。



2) 男女共同参画フォーラム・第30回農山漁村のつどい

とき：平成29年11月11日（土）

ところ：三重県総合文化センター

男女共同参画フォーラムと農山漁村のつどいの共催で、減災・復興の場面での農山漁村における「共助」について考える分科会や、関連展示などが実施されました。

「農山漁村における共助とは～減災・復興と多様性について考える～」をテーマに事例発表がありました。そこで、竹内友子さんが「同じ畜産仲間としてなにかできることはないだろうか」と題して、福島県の肉牛農家さんに支援物資を送った時の様子、また被災地の様子をパワーポイントを用いて発表しました。基調講演では、佐谷説子さんから、内閣府のこれまでの取組や、男女共同参画の視点をどう日本の防災対策に導入していくか、今後の方向性などについての紹介がありました。また、基礎講話では浅野幸子さんより、東日本大震災前後の防災・復興体制における女性の参画状況、男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針、減災サイクルと男女共同参画の視点などの事例発表がありました。

恒例となっている自慢の生産物販売では、サン・カラットを代表して津市久居の大西畜産の「頑固おやじのぶた」を販売しました。



3) 秋田県での研修会

とき：平成 29 年 11 月 29 日（水）～11 月 30 日（木）

ところ：農事組合法人 新林牧場（秋田県由利本荘市）

秋田県畜産試験場

参加者数：25 名（うちサン・カラット会員 6 名）

※この研修会は、三重の畜産女性活躍促事業との共催により開催されました。



1 日目は全国畜産縦断いきいきネットワークの副理事長である柴田誠子さんが経営する新林牧場を見学しました。畜種は酪農で 120 頭（経産牛：80 頭、育成牛：40 頭）飼養しており、家族 4 人で営んでいます。柴田誠子さんは研修会等の集まりに参加することで多くのことを学んだので、後継者にも積極的に外へ出るようにと伝えているそうです。また、楽しく仕事することにより、畜産の仕事に対するマイナスイメージを持たせないようにしているとのことでした。

2 日目は秋田県の地鶏「比内地鶏」の研究、県種雄牛や飼料用米の生産・研究等を実施している秋田県畜産試験場を見学させていただき、業務についての説明を受けました。防疫のため、比内地鶏の鶏舎の見学はできませんでしたが、パワーポイントと資料を用いて、鶏舎業務の説明をしていただきました。続いて、肉牛施設にて種雄牛の見学に行きました。養豚・養鶏を営む参加者は、見慣れていない種雄牛に関心を示し、種雄牛についての質疑応答がありました。



4) 畜産女性による出前授業 in 明野高校



とき：平成 30 年 2 月 15 日（木）

ところ：三重県立明野高等学校（伊勢市）

参加者数：7 名

※この出前授業は、三重県畜産協会の新たな地域リーダー育成のための女子力発揮事業との共催により開催されました。三重県立明野高等学校生産科学科の 2 年生 40 名を対象に、出前授業を開催しました。授業内容は日々の仕事内容やこだわり、楽しさ、気をつけていることなどについて紹介する「生産現場の声」と題した「講演会」、生徒の皆さんと交流を深めるための「意見交換会」の 2 部

で構成しました。若者の就農促進につながるよう、畜産の魅力伝えていただきました。

3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌の発行

①サン・カラット通信第29号(平成30年3月発行)

- ・秋田県へ研修旅行
- ・明野高校で出前授業を開催
- ・国際養鶏・養豚総合展2018の案内



2) ホームページからの情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、活動状況等を広報しました。

サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/index.htm>



4 会の運営等の活動・その他

1) 世話人会の開催

とき：平成29年5月23日(火)

ところ：三重県教育文化会館 第3会議室

出席者：サン・カラット世話人3名、県畜産課2名、畜産協会2名

協議内容：平成28年度実績、平成29年度活動計画等

※この会議は、三重県畜産協会の畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催しました。



2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク全国大会、農水省との意見交換会

とき：平成29年8月22日(火)、23日(水)

ところ：中野サンプラザ(東京都中野区)、農林水産省(霞が関)

第13回の大会テーマは「聞かせてよ！若いみんなの声～親世代と子世代～」の下に開催されました。畜産を親から引き継いだ方々の主張をビデオにし、それを放映しました。また、「親世代と子世代による対話」と題し、パネルディスカッションがありました。4組の農家さんがパネラーとして参加し、サン・カラットの竹内さん親子もパネラーとして参加しました。

翌日は、農林水産省の職員の皆さんと畜産を取り巻く課題についての意見交換会に参加しました。

5 平成 29 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 29 年度収支計算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
会費	165,000	147,500	17,500	5,000 円×29 名、2,500 円×1 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	0	30,000	
雑収入	50	3	47	預金利息 3 円
当期収入合計 (A)	195,050	147,503	47,547	
前期繰越収支差額	339,621	339,621	0	
収入合計 (B)	534,671	487,124	47,547	

2) 支出の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	144,000	25,044	118,956	表外※1 参照
会議費	600	0	600	
会場費	4,000	0	4,000	
旅費交通費	10,000	0	10,000	
通信運搬費	14,860	7,880	6,980	切手代 7,880 円
消耗品費	6,000	5,567	433	事務消耗品費 5,567 円
印刷製本費	8,000	0	8,000	
賃金	49,000	0	49,000	
事務諸経費	2,400	0	2,400	
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計 (C)	243,860	38,491	205,369	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 48,810	109,012	△157,822	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	290,811	448,633	△157,822	



※1 特別事業費 (25,044 円) の内訳

総会昼食 20,844 円、農山漁村のつどい 4,200 円

※参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援

世話人会開催費用 28,202 円 旅費、会場費等

研修会・勉強会開催費用 34,711 円 会議費、材料費、通信運搬費等

その他費用 33,616 円 通信運搬費、消耗品費等

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。

平成 30 年度事業計画（案）

高病原性鳥インフルエンザの発生、肉用牛もと畜や乳用後継牛の価格高騰など、畜産経営を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いていると感じています。グローバルな視野に立てば、米国のTPP交渉離脱による11か国での合意と日欧EPAの発効による影響、恒常的に発生している家畜疾病も気がかりな課題です。

私たちは、このような状況の中でも、苦境にも負けることなく経営の維持発展に臨んできました。女性の視点で経営に参加し、家族と共に考え行動してきました。

サン・カラットは、平成18年の発足から12年目を迎えます。昨年度の活動を通して、異業種との交流や農業高校との繋がりができました。今年度は、昨年度から準備を進めてきた農業高校への出前授業を県立4校に拡大して実施することを計画しています。高校生たち若い力と交流することで、私たちも何か得えられるものがあると思います。

これまで共に歩んできた年月を誇りに思い、さらに魅力ある仲間であり続けるために励まし合い、喜び合える絆を育てていきたいと思っています。

1 研修、会員相互の交流等の活動

毎日、畜産現場で活躍しているのに「今更、研修？」と思われるかもしれませんが、現場経験のある人は、自分の体験と照らし合わせて学ぶことができるのではないのでしょうか。こういった場面で出会う研修は、モヤッとした悩みを解決してくれたり、自信をつけてくれるものになります。

求めるテーマで研修会が開催されることは少ないかもしれませんが、せっかく目の前に止まったバスがあれば、乗り込んでみましょう。新しい発見もあるはずです。

1) 総会

とき：平成30年6月26日（火）

ところ：松阪農業公園ベルファーム

平成29年度事業実績の報告、平成30年度事業計画の提案



2) 男女共同参画フォーラム

とき：平成30年11月10日（土）

ところ：総合文化センター 多目的ホール

（「農山漁村のつどい」と男女共同参画フォーラムと共同開催とし、ひとつの分科会をつどいで仕切る予定とのことです。）



3) 農業高校訪問

内容：農業高校を訪問し、畜産・農業を学ぶ高校生と交流し、畜産の魅力伝える。

新しい取組みのため、会議を開催して会員の皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと思っています。

4) 交流会（料理講習会）

内容：他の業界で活動する女性グループとの料理交流。

5) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会、農水省との意見交換会

とき：平成30年8月27日（月）、28日（火）

ところ：浅草ビューホテル（東京都台東区）、農林水産省（霞が関）

2 情報発信・情報交換による交流

サン・カラット活動の中で、会員同士が直接顔を合わせる機会といえ、年に何度か開催するイベントなど回数も限られます。また、都合によりなかなか参加いただけない場合も散見されます。

一方、自分たちの活動を会員以外の皆さんに知ってもらうためにも情報の発信をしています。

1) 会員誌の発行

掲載内容の主な部分は、活動状況の報告となっていますが、参加いただいた会員の感想なども掲載するようにしています。

楽しそうな話題を耳にすれば、寄稿もお願いしています。ふだん文章を書く機会はそのほど多くないかもしれませんが、事務局から寄稿の依頼があれば一念発起してご協力をお願いします。

会員の皆さんからの寄稿が会員誌を豊かな内容にしてくれると思います。

「あなた」をお願いしますヨ。

2) ホームページによる情報発信

活動状況を中心に掲載する関係上、会員誌の内容と重複しますが、ホームページ「三重の畜産広場」の一角から情報発信をします。

3) その他の情報提供

皆さんの周りで起きたニュースやイベント開催予定などをお知らせ下さい。

他のグループ、趣味の会などの活動に参加されている場合も、「見に来てください」「集まってください」といった情報を提供して下さい。

サン・カラット以外で活躍する姿を教えてください。



3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

飼料費を始め生産資材の高騰は生産コストを上げ経営収支を厳しいものとしています。



こういった状況に立ち向かうために、女性の視点から消費者へアプローチしてみようではありませんか。食べ物に興味をもったり関わったりすることが多い女性ならではの情報発信や活

動を展開していきましょう。

4 その他会の運営に必要な活動

サン・カラットの運営については、少しでも有意義な活動が展開できるように世話人会で検討協議していますが、ぜひ皆様のご意見をお聞かせ下さい。

また、行動の範囲を広げるためにも、全国組織の「全国畜産縦断いきいきネットワーク」にも目を向けてみて下さい。



三重の畜産女性の会

サン・カラットへのお誘い

三重の畜産に携わる人、興味のある人、畜種を越えて集いましょう。
一人ひとり小さな力でも、
仲間がたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。
なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産や畜産物についての理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合いましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！

皆でまず一歩！これがスタートです。

5 平成30年度収支予算

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成30年度収支予算（案）

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

1) 収入の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
会費	145,000	165,000	△ 20,000	会費 5,000 円×29 名
寄付金			0	
特別事業費	30,000	30,000	0	参加費 1,000 円×20 人×1 回 材料費負担 500 円×20 人×1 回
雑収入	10	50	△ 40	預金利息
当期収入合計(A)	175,010	195,050	△ 20,040	
前期繰越収支差額	448,633	339,621	109,012	
収入合計(B)	623,643	534,671	88,972	

*サン・カラット会員の年会費は5,000円とする。納入は7月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店
口座名義 三重の畜産女性の会
口座種別 普通預金 口座番号 0003584

2) 支出の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	144,000	144,000	0	表下※1 参照
会議費	1,000	600	400	100 円×10 人×1 回
会場費	4,000	4,000	0	世話人会
旅費交通費	10,000	10,000	0	事務局延べ4人
通信運搬費	15,000	14,860	140	会報等郵送料、振込手数料
消耗品費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
印刷製本費	8,000	8,000	0	コピー利用料
賃金	63,000	49,000	△14,000	7,000 円×9 日
事務諸経費	3,000	2,400	600	250 円×12 ヶ月
雑費	1,010	5,000	△3,990	その他雑費 1,010 円
当期支出合計(C)	255,010	243,860	11,150	
当期収支差額 (A)-(C)	△80,000	△48,810	△31,190	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	368,633	290,811	77,822	



※1 参照（特別事業費）

会議費	74,000	2,000 円×20 人×1 回 1,500 円×20 人×1 回 100 円×40 人×1 回	旅費	12,000	研修会講師
会場費	10,000	総会、研修会	謝金	18,000	研修会講師
			材料費	30,000	30,000 円×1 回(食材)

三重の畜産女性の会 サン・カラット

事務局 一般社団法人 三重県畜産協会

電話 059-213-7512

FAX 059-221-0109

E-Mail info@mie.lin.gr.jp

津市桜橋 1 丁目 649 番地 農業共済会館